

京都ノートルダム女子大学 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

○人間文化学部 英語英文学科

【学ぶ内容および特色】

英語英文学科は、英語を機軸にして、英語圏文化についての知識、英語教育の知識と資格、その他ホスピタリティを含む実践的能力と人間性を備え、異文化の環境でも力を発揮できる柔軟で心豊かな国際人を輩出することを目的に教育を行っています。したがって以下のような学生の入学を期待します。

【入学を期待する学生像】

1. ことばとしての「英語」に興味を持ち、同時に英語圏の文化、歴史、社会、コミュニケーションに幅広く関心を寄せる人。
2. 特に英語圏の文化や文学（作品）に関心があり、これらを専門的に学ぶことによって深い教養と豊かな心を育みたい人。
3. 徹底的に「英語力」と実践的な英語スキルを磨き、国際社会や異文化環境においても実力を発揮する能力を身につけたい人。
4. 英語の教諭免許（中学校・高等学校第一種）を取得し、将来教員を目指す人。
5. 幼児・児童の言語獲得や英語指導法を学び、早期英語教育に携わりたい人。
6. ホスピタリティやコミュニケーションについて深く学び、航空業界など実社会に通用する人間基礎力を磨きたい人。
7. 本の執筆やエッセイの出版、ブログやHPの開設、そしてスピーチや演説などの情報発信を英語で行う力を身につけたい人。

【入学者が履修しておくことが望ましい科目や資格】

英語Ⅰ、英語Ⅱ、リーディング、ライティングを履修し、読む、書く、話す、聞く、の英語における4分野の学習をしていること。また、現代文、世界史の履修が望ましいです。また、TOEIC[®]、TOEFL[®]、実用英語技能検定等の学習をしていると大いに役立ちます。

○人間文化学部 人間文化学科

【学ぶ内容および特色】

人間文化学科では、「日本語と日本文化」「多文化理解」「芸術と思想」「読書と情報の文化」の4領域にわたり、国際的な広い視野をもちつつ、文化について深く考察する教育プログラムを展開しています。また、社会の即戦力となる実践的スキルを習得した人材育成のため、積極的かつ系統的に必要な能力・資格を身につけていく「キャリアデザインプログラム」を併せて施行し、学生個々のキャリア形成を強力に支援します。

【入学を期待する学生像】

1. 言語や文学に関心があり、その構造や歴史について学びたい人。
2. 国語力に磨きをかけたい、あるいは新たに外国語を学びたいと思っている人。
3. 神社仏閣など、日本の伝統文化に関心があり、古都京都を「学びのフィールド」として、日本文化の奥深さを体感したい人。
4. 世界の多くの異なる文化について理解し、多様な文化交流の歴史や今日のグローバル社会における異文化交流や国際政治の現状について学びたい人。
5. さまざまなジャンルの芸術について理解し、その歴史や思想的・宗教的背景について学びたい人。
6. 書物や読書の歴史を学びたい人。また、子どもの成長過程における読書の意義について考え、子どもへの読書支援活動を行いたい人。
7. インターネット社会が展開する新しい文化活動の実態を分析してみたい、あるいはネットワーク社会における倫理の問題について考えたい人。情報処理士やウェブデザイン実務士など、コンピューターに関するさまざまな資格を得たいと思っている人。
8. 中学校・高等学校の国語科教諭免許や外国人に教える日本語教員資格を取得したいと思っている人。
9. 博物館学芸員の資格を得て将来博物館や美術館関連の職業をめざしたい人。
10. 図書館司書資格を得て将来図書館関連の職業につきたい人。

【入学者が履修しておくことが望ましい科目の一例】

外国語、国語、公民、地理歴史の必修科目を確実に修得しておくこと。また、情報、芸術関係の科目についても、強い関心のある人は、知識や能力を高めておくこと。

【入学者が取得しておくことが望ましい資格の一例】

日本漢字能力検定2級、日本語検定3級、その他各自が関心をもっている領域の検定（ex. 京都・観光文化検定試験[®]）を受検すること。

○生活福祉文化学部 生活福祉文化学科

【学ぶ内容および特色】

生活福祉文化学部では、文化的な視点を背景に、生活と福祉の知識、技能、技術などを習得し、さらに現代社会の要請に応じた対人援助能力、実践的問題解決能力を身につけた「生活者を支援する人材」を養成することを目標としています。以下のような学生の入学を期待します。

【入学を期待する学生像】

- 1.幅広い視野で生活と福祉をみつめ、よりよい「暮らし」をデザインしていこうとする情熱をもち、自ら積極的に学ぶ意欲と能力を持つ人。
- 2.衣・食・住・健康など身近な事象を有機的なつながりをもって学ぶことによって、社会の本質を見極める確かな目を養い、現代生活をより快適に過ごす「生活のスペシャリスト」を目指そうとする人。
- 3.地域社会への理解を深め、人々の暮らしについて様々な問題意識を持ち、社会貢献や女性の視点を活かしたビジネスチャンスの創造に対する意欲と関心を持つ人。
- 4.現代生活における様々な課題に対応できる基礎知識と技能を備え、地域や社会に還元する教育実践活動に関心を持つ人。
- 5.保育・児童福祉、高齢者福祉、障がい児・障がい者福祉など各分野において、人間に対する深い理解や対人援助の理論や技術を幅広く身につけた福祉専門職を目指す意欲と関心を持つ人。

【高等学校において履修すべき科目や取得が望ましい資格等】

- 1.「暮らし」や「福祉」という人間の生活に関わる学びの基礎には、文章読解力や作文能力、対人コミュニケーション力が求められます。そのため、「国語表現」、「国語総合」といった国語に関する科目や、「英語」についての基礎的な学習をしておくことが大切です。
- 2.「暮らし」や「福祉」に関する知識・技術・態度を身につけていくための基礎として、「家庭基礎」、「家庭総合」といった家庭に関する科目や、「現代社会」といった科目に関心を持って取り組んでおくことが望まれます。
- 3.また、高等学校の専門学科、総合学科における人の暮らしに関わる専門科目は本学部における学びに役立ちます。特に以下に示す学科での専門科目は本学部における学びを深めていく上で重要です。
家庭に関する学科：「生活産業基礎」などのすべての専門科目
福祉に関する学科：「社会福祉基礎」などのすべての専門科目
農業に関する学科：「食品製造」などの専門科目
商業に関する学科：「商品と流通」「マーケティング」などの専門科目
総合学科：「産業社会と人間」などの専門科目
- 4.以上のような教科・科目での学びだけでなく、「総合的な学習の時間」やボランティアなどを含む課外活動を通じて、人間や生活に関する問題や課題に興味や関心をもつ力や個性豊かな人間性の基礎となる様々な体験も本学部での学びに大いに役立ちます。

○心理学部 心理学科（発達心理専攻・学校心理専攻・臨床心理専攻）

【学ぶ内容および特色】

心理学部においては、実験、観察、調査などの実践的内容を含む授業をとおり、「人間行動を客観的に深く分析できる人材の養成」と「家庭や学校や社会のすべての場で心を理解し、人と関わるための対応ができる人材の養成」を目指しています。具体的には、次のような学生の入学を期待します。

【入学を期待する学生像】

- 1.人のこころを理解し、人との関わりや対話力の重要性を考え、心理学に幅広く関心を持っている人。
- 2.心理学の知識や技能を習得し、現代社会の要請に応じた実践的問題解決能力を身につけたい人。
- 3.心理学への学習意欲や問題探求心に優れ、様々な問題や事象について論理的に考え、解決策を追求することに熱意があり、適性を持っている人。
- 4.認定心理士の資格や教諭免許（幼稚園及び小学校第一種）を取得し、将来その資格を活かした職業に就きたい人。
- 5.人間の思考や行動、人間関係や社会構造に興味を持ち、幅広い心理学の知識を深く探求したい人。
- 6.現代社会が抱える心理的・社会的諸問題について考え、その解決に貢献したいと考える人。

【入学までに求める学習経験】

国語や英語の学習を通して、読む・書く・話す・聞くといった経験を積み、説明力やコミュニケーション力をつけることが大切です。そして、社会（地理歴史・公民）の学習を通して、現代社会や身の周りの出来事に関心と問題意識を持ち、課外活動などを通して、その解決方法を考えたり実行していることが望まれます。また、基礎的な数学（数学Ⅰ）や理科での学びを通して、物事を客観的に捉える力も必要です。得意・不得意に関わらず、各科目を幅広く学習しておくことを要望します。